

平成27年 7月17日
国立大学法人 千葉大学

明日7/18(土)、岩手県立大槌高校の生徒が、千葉大学園芸学部に進地的な「コミュニティーガーデン」を学びに来る

～2011年から続く、花と緑を通じた被災地支援活動がつなぐ、大学生と高校生の交流～

千葉大学園芸学部は、東日本大震災後、被災地に元気と笑顔を届けることを目的に、2011年から毎年、学生と教員が被災地に赴き、コミュニティーガーデンを通じた支援活動を行っています。明日（7月18日）には、これまでとは逆に、被災地の高校生が、先進的なコミュニティーガーデンづくりを学ぶために、千葉大学を訪れることになりました。

■園芸学部の学生が継続している被災地支援活動

千葉大学の園芸学部の学生の有志により、東日本大震災後の2011年7月に、国立大学で国内唯一の園芸学部生として、大学で学んできた知識や経験を活かし、植物を通じて被災地を元気づけたいという思いから、宮城県石巻市の仮設住宅で、コミュニティーガーデンづくりを開始しました。

以後、宮城県だけでなく、岩手県や千葉県旭市にも取り組みを広げ、これまで約40回にわたり被災地を訪問し、コミュニティーガーデンの維持管理や、商店街の緑化活動、ハーブを使った香袋や石鹸作りなどを、地元の方々と一緒に行ってきました。

今年度は、6月に石巻市で被災地支援活動を実施し、8月と12月に陸前高田市と大槌町、釜石市で、石巻市でも10月と年明けにもそれぞれ活動を実施する予定です。



■今度は岩手県立大槌高校の生徒が千葉大学を訪問

昨年、岩手県大槌町で高校生と一緒にコミュニティーガーデンづくりを実施したところ、現地の高校生が今度は自分たちが千葉大学を訪問し、先進的なコミュニティーガーデンを自分たちの目で見て、その管理の方法について学びたいということになり、今回の場が実現しました。

■当日の概要

日時：平成27年7月18日（土）9:30～19:00

内容：9:30～12:00 千葉大学園芸学部にて講義と意見交換会（場所：松戸キャンパス）

13:00～19:00 都内のコミュニティーガーデンを見学し管理方法について専門家より指導

訪問者：岩手県立大槌高校 教諭2名、生徒3名

対応者：千葉大学園芸学研究科緑地環境学コース 秋田 典子准教授、学生8名

本件に関するお問い合わせ・取材のお問い合わせ
千葉大学園芸学研究科緑地環境学コース 秋田 典子准教授

TEL: 047-308-8879

メール：noriko@faculty.chiba-u.jp